

袋井市防災講演会 2018

～ひとがひとを救う街へ～

男性も女性も、大人も子どもも、若者も高齢者も

災害に強い人は、
災害をきちんと
こわがれる人だ。

みんなが
みんなを
救う街へ。

ひとが
ひとを
救う街へ。

自分を救える人は、
誰かも救える。

(出典：横浜市民防災センター)

防災は「自助」が第一です。その自助があってこそ「共助」であることは、これまでの大規模地震災害で明らかです。東日本大震災や熊本地震では、住民はどのように行動していたのだろうか。我々が体験するであろう南海トラフ巨大地震ではどんなことができるだろうか。実際に被災された方々の生の声を聞き、「みんながみんなを救う街」「ひとがひとを救う街」を目指す防災講演会です。本講演会は男女共同参画の視点を取り入れた内容となっています。災害はなくせない。パニックはなくせる。



宮城県岩沼市 語り部 渡辺 良子
写真：河北新報社提供



熊本県西原村議会議員 堀田 直孝



アウトドア防災ガイド
あんどらりす



NPO法人
御前崎災害支援ネットワーク代表
落合 美恵子

日時
平成30年6月17日 日曜日
午前9時15分～午後1時 (開場 午前9時～)

参加料
無料

場所
袋井市メロープラザ (袋井市浅名1027番地) 0538-30-4555
駐車場に限りがありますので、乗り合わせでお越しください。

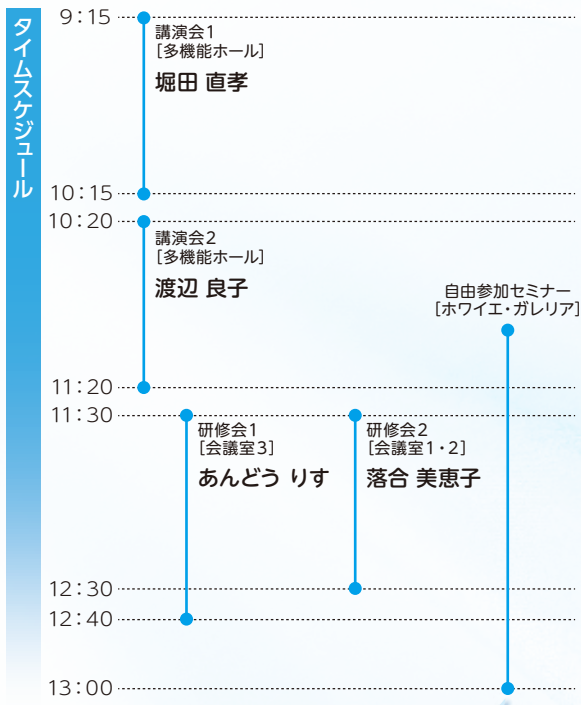
定員
講演会1・講演会2 ……500人
(申し込み不要ですが、来場者多数の場合は入場できない場合があります。)
研修会1 ……80人【要申込】
研修会2 ……60人【要申込】

託児
定員7人【要申込】 託児料 100円/1人あたり

これまでの大規模地震災害で明らかであるように、「自助」による防災が第一で、その自助があってこそ「共助」である。行政による「公助」を当てにしている行政には限界があることを理解しているのだろうか、「きっと何とかなる」「だれかがやってくれる」そんな考えが地域の防災力を弱めていないか。一人ひとりが、防災隊員です。

東日本大震災と熊本地震で実災害を経験している方やボランティア活動を数多く行っている方から、いかに自助が大切であり、共助による助け合いが被災後の生活で大切であることを、日々の暮らしのなかで防災について自然に考えられるような工夫について、アウトドアの楽しさと防災の面白さなどを、聴講してください。共助、近所といった地域コミュニティの力が袋井市の防災力を高めます。

※本講演会は男女共同参画の視点を取り入れた内容となっています。



自由参加セミナー

- ・“防災は他人事ではなく自分事”防災を身近に感じる体験ブース (静岡文化芸術大学学生サークル「さいのこ」)
- ・食料備蓄 定期宅配サービスPR
- ・防災書籍の展示
- ・静岡理科大学学生サークル「ヨクスル」の防災PR

※内容は変更になる場合があります。

プロフィール

(敬称略)

堀田 直孝 ほりた なおたか
熊本県西原村議会議員

昭和55年熊本県阿蘇郡西原村役場へ入庁し、平成28年8月に退職、平成28年9月から熊本県阿蘇郡西原村議会議員。役場時代は、住民課、総務課、経済課、税務課で勤務し、熊本地震の際は、税務課長として西原村立河原小学校で避難所総括を担当。住民に「ここは待つだけの避難所ではなか」と伝え続け、避難所の住民共助による自主運営を支えた。熊本地震からの復旧・復興・再建する「村の正念場」に参画する意欲をもって、村議会選挙へ立候補、現職。

渡辺 良子 わたなべ りょうこ
宮城県岩沼市在住

平成23年3月の東日本大震災の津波で義理の兄をなくし「この悲しい体験を伝えることで、悲しい体験をする人を一人でも少なくしたい。」との想いから、平成26年岩沼市の研修会を経て、語り部として活動を始めた。ラジオパーソナリティーの経験もあり、「千年希望の丘交流センター(宮城県岩沼市)」で防災案内ツアーの案内役も務める。

あんどう りす
アウトドア防災ガイド

阪神大震災被災体験とアウトドアの知識を生かし、平成15年から全国で講演活動を展開。当時、誰も提唱していなかった毎日のカバンを防災仕様にするというアイデアを提案。とりわけ子育てグッズと防災グッズをイコールにしてしまうアウトドア流の実践的な内容が好評。楽しくてすぐに実践したくなる、毎日の生活を充実させるヒントがたくさんあると親達の口コミで全国に広まり、毎年の講演回数は100回以上。2017年・2018年 神奈川県座間市危機管理課子育て世代むけ防災アドバイザー。著書に「りすの四季だより」新報新聞社。

落合 美恵子 おちあい みえこ
特定非営利活動法人 御前崎災害支援ネットワーク 代表理事

平成19年4月御前崎災害支援ネットワーク設立(会長就任)。中越地震被災地で初めてのボランティア活動。その後、中越沖地震刈羽村、岩手県上閉伊郡大槌町、北関東豪雨災害常総市石下地区、熊本県地震震島町などでのボランティア活動や、九州北部豪雨災害タオル寄付活動等で被災地を支援。年間20か所以上で講演・研修講師を実施。著書に「中越地震に学ぶ防災自助努力」芸芸社(平成19年共同出版)。内閣府防災ボランティア検討会議、静岡県地域防災活動推進委員会委員を経験。

袋井市防災講演会 | 参加申込書 | 申し込み締め切り(6月11日(月)必着)

FAX・郵送先

〒437-8666 静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1 袋井市役所危機管理課
FAX: 0538-43-2132

【研修会】 希望する研修会に○印を付けてください。

希望する研修会	研修会1	講師：アウトドア防災ガイド あんどう りす	※動きやすい服装でお越しください
	研修会2	講師：御前崎災害支援ネットワーク 代表 落合 美恵子	

ふりがな 氏名	電話番号	
	携帯電話	
参加確認書の送付先住所 (※1)	〒	

【託児】

ふりがな お子さんの名前	
年令	歳 月 日
	男・女

(※1) 順次、参加確認のはがきを郵送しますので、ご住所を忘れずにご記入ください。

託児を希望する方は、託児料(100円)を当日ご用意ください。